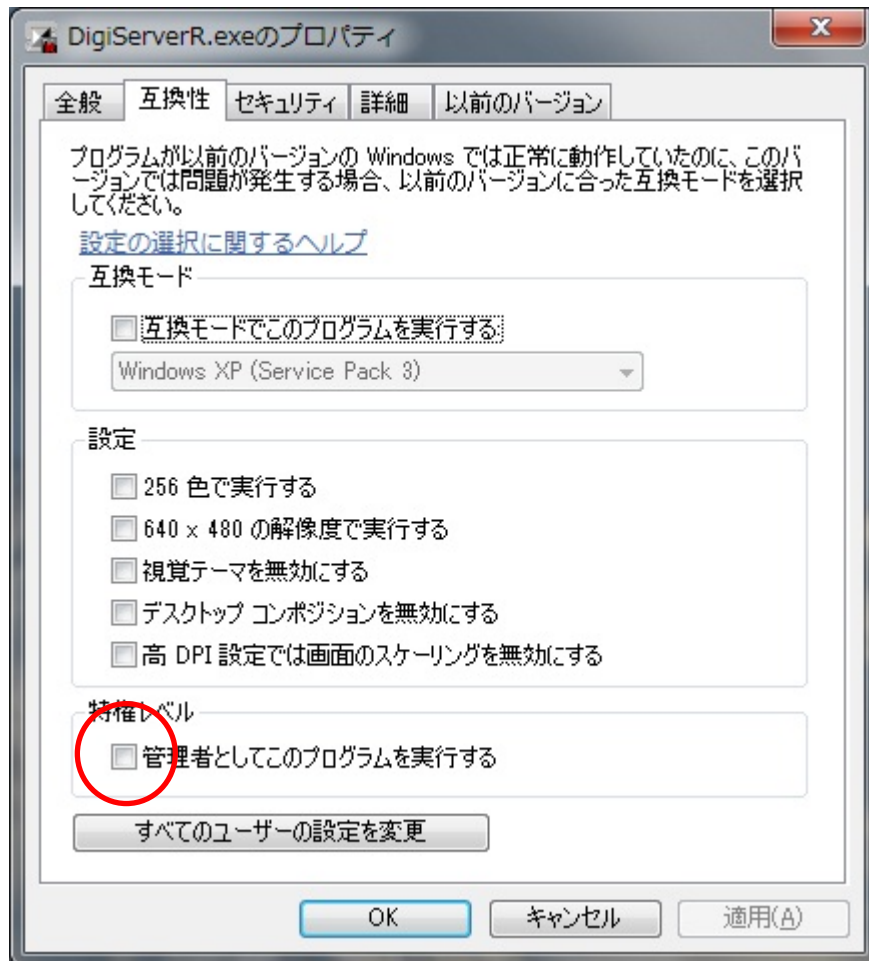


DigiServer の Windows 7 での環境設定

Windows 7 では、Windows XP とは異なりセキュリティが強化されました。デジタル署名の無いプログラム（ロゴテストを受ければデジタル署名をもらえるが費用と多くの時間がかかる）を起動する場合には、プログラムを管理者権限で使用するよう設定する必要があります。また、プログラムを起動する度、必ず確認画面が開くようになりました。前者は必ず設定が必要になり、後者は確認画面が開いても構わなければ設定する必要はありません。

《プログラムを管理者権限で使用する》

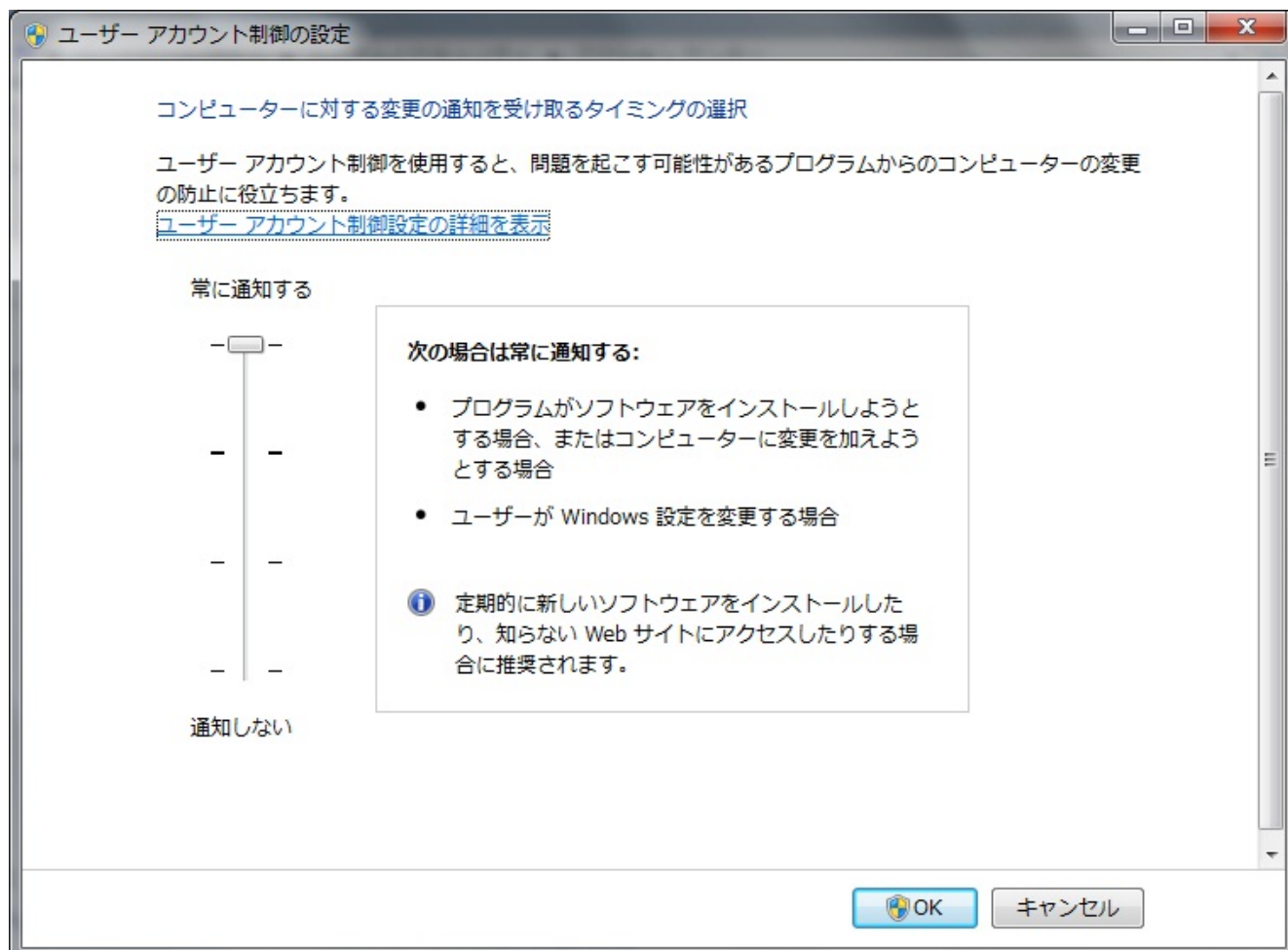
- ① DigiServerR システムのインストールをします。
- ② C:\Program Files\FillsProgram\DigiServerR のフォルダ内の DigiServerR.exe を右マウスクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- ③ 「互換性」タブをクリックします。画像参照
- ④ 「特権レベル」の「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックボックスを ON にし、[適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。



これで、プログラムが動作するようになりますが、プログラムを起動しようとするとき起動してよいかを確認する画面が開きます。この画面が開くのがわずらわしいという方は、下記の操作をして確認画面が開かないようにすることができます。ただし、この設定の変更をすると、意にそぐわないソフトが NET 経由でインストールされた場合、確認画面が開きませんので、日頃から注意が必要になります。

《セキュリティの設定変更》

- ① コントロールパネル>システムとセキュリティ>アクションセンターを開きます。
- ② 「セキュリティ」をクリックします。
- ③ 「ユーザーアカウント制御」が「有効」になっています。「設定の変更」をクリックすると下記画面が開きます。



- ④ 左にあるスライダーを一番下の「通知しない」にスライドさせ[OK]ボタンをクリックします。Windows を再起動すると設定画有効になります。